

高校生の進路選択に関する調査 「進学センサス2016」発表

Part 1

留学意識

(参考資料P 3)

大学進学者の3人に1人が留学意向あり 「就職」を意識し、男子の意向者は増加 一方、女子は「治安への不安」により減少

Part 2

進路選択プロセス

(参考資料P 10)

大学進学者の出願校数は約3校 オープンキャンパスの参加率は94.2% 3人に1人が授業料の安さを重視

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都中央区 代表取締役社長：山口文洋）が運営する、リクルート進学総研（所長：小林 浩）では、高校生の進路選択の現状を明らかにするため、進路選択行動の時期やプロセスについての調査を実施いたしました。一部を抜粋してご報告申し上げます。

参考資料：<http://prtmes.jp/a/?f=d10032-20160627-6327.pdf>

リクルート進学総研 所長 小林 浩（こばやしひろし）

<プロフィール>

1988年（株）リクルート入社。早稲田大学法学部卒。グループ統括担当や、『ケイコとマナブ』商品企画、マネジャー、大学ソリューション営業、社団法人経済同友会出向（教育問題担当）、会長秘書、大学ソリューション推進室長などを経て、2007年4月より現職。

文部科学省中央教育審議会 高大接続特別部会臨時委員。

リクルート進学総研所長 兼、『リクルートカレッジマネジメント』編集長



<リクルート進学総研とは> URL：<http://souken.shingakunet.com/>

高校生、進路選択に関する調査研究機関として、以下の活動を行っています。

- ・全国の大学、短期大学、専修学校など、高等教育機関の経営層向けの専門誌『カレッジマネジメント』の発行
- ・高校の先生を読者対象とする進路指導、キャリア教育の専門誌『キャリアガイダンス』シリーズの発行
- ・高等教育機関、高校生、進路選択に関する各種調査の実施や社外に向けての情報発信

<取材にお答えできます>

- ・大学をめぐる政策動向全般について
- ・高校生の進路や将来についての価値観
- ・大学のブランド力
- ・高校生、保護者、高等教育機関についての各種データ
- ・マーケット動向や事例など、高校生～大学経営まで教育に関わる内容について幅広くお答えします。

※出版・印刷物へデータを転載する際には、“「進学センサス2016」リクルート進学総研調べ”と明記いただけますようお願い申し上げます。リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

【リクルート進学総研 WEBサイト】 <http://souken.shingakunet.com/>